

VISION EYE Quattro

取扱説明書



本システムは、車両安全運転のための補助製品です。
本製品の趣旨に合わせてご使用下さい。

1. 製品案内

本製品は、4つのカメラで前後左右の映像を記録する装置であり、車両の事故や衝撃発生時に映像を記録して事故状況に対する参考資料として提供する安全運転のための補助製品です。

- ◆ 装着及び使用方法は、取扱い説明書にそって正しくご使用して下さい。
- ◆ 誤った使用方法及び設置、改造による故障又は、事故が発生した場合、弊社は一切の責任を負いません。
- ◆ 本製品が提供する専用のビューワプログラムはWindow XP/Vista/Windows7/Windows8/Windows10のパソコン上で動作します。なお、より円滑な動作のためにはCPU- Intel Core2 Quad Q6600 @ 2.40GHz, RAM - 2GB 以上の仕様を推奨します。
- ◆ 本製品と取扱説明書は、性能向上のため、予告なしに変更、或は修正する場合があります。
- ◆ 本製品によるすべてのソフト、ハードに関する権利は弊社が保有しており、弊社の許可なしに無断複製、加工、配布することは禁止されております。
- ◆ 安全運転のために、運行中には本製品の操作はしないで下さい。

3. 注意事項

安全のための注意事項は、製品を安全及び正しく使うことによって事故、或はリスクを事前に防止する目的ですので、必ず守ってください。取扱説明書に記載された事項を違反して使用することによって問題が発生した場合には弊社はその責任を負えません。

警告. 下記に記載の様な誤ったご使用された場合に、重大な事故になる恐れがございますので、ご注意下さい。

1. 本製品が水に浸った場合に、乾燥させるために 熱機構(ヒーター、電子オーブン等)に入れないで ください。爆発、或は変形、故障の原因になります。
2. 本製品を掃除するため、化学物質(ベンゼン、シンナー、アルコール等)を使わないでください。 火災の恐れがあります。
3. 任意に分解するか、衝撃を与えないでください。製品が故障する恐れがあります。
4. 運行中に製品操作は止めてください。車両の運行中に操作すると、事故の恐れがありますので、操作が必要な時は安全な場所に停車してから操作してください。

注意. 下記に記載の様な誤ったご使用された場合、機器の性能を十分発揮出来なかったり、故障の原因となる可能性があります。

1. 車両の常時電源で配線した場合、エンジン停止中も本体が作動している為、バッテリーを消費して、バッテリー上がりの原因となります。
2. カーナビ、或はETC等フロントガラスへの反射にはご注意ください。 反射物がカメラに映り込む事で、映像品質が落ちることがあります。
3. 設置時には、両面テープ等でしっかりと接着してください。長期間の使用で、車両の振動や衝撃により取付位置がずれる事があります。
4. 外向きにカメラを設置する際、ガラス面にコーティングフィルム等が貼られている場合に、フィルムの濃度によっては明瞭に記録されなかったり、録画面質に影響を及ぼす事がございます。
5. 外向きに設置したカメラとガラス面の間は、常に異物などが無いようにご注意下さい。ガラス面に汚れがある場合には正常に記録出来ない場合がありますので、こまめに掃除して下さい。
6. メモリカードの装着や、取外しにご注意ください。保証されていないSDカードは正常に録画されない可能性があります。また、メモリカードは本体の電源を必ずオフにしてから取り出してください。電源が入った状態で、装着や取り外した場合にSDカードを破損する可能性があります。
7. メモリカードの最後まで録画した場合には、自動的に古い映像から上書きしますので、必要なデータがある場合には、データをバックアップしてください。一度上書きしたデータは復旧する事が出来ません。
8. 車両の事故やトラブル等が発生した場合、メモリカードを別の物に入れ替えるか、データを保存して管理してください。そのまま続けてご使用されると、必要なデータに上書きされる事で、データが無くなる恐れがあります。

4. 製品の特徴(1)

◆ 鮮明な画質と、最適な視野角で、高画質に映像を記録します。

本製品は、必要な事故現場や、駐車中の監視映像を明確に記録できるように昼・夜間問わず、鮮明な映像を記録することが可能です。

◆ WiFi 機能

スマートフォン(アンドロイドOS)の専用アプリを利用して4CHのリアルタイムな映像及び記録された映像を確認する事が可能です。

(但し、環境や通信状態により、送受信距離や通信速度が変わることがあります)

◆ 常時録画記録

走行中の4chの全ての映像を、常時記録する事が可能です。

◆ イベント記録

常時録画中に外部からの振動などの衝撃を受けた場合、内蔵の3軸のGセンサーが感知し、衝撃感知の10秒前から衝撃感知後20秒まで総30秒の映像をイベントフォルダーに保存します。

◆ 車両の安全を見守る専用CCTV, 駐車録画

本製品は、駐車中の動作感知及び、衝撃により生じる車両の損傷事故を記録する駐車監視モードを備えています。

◆ メモリ自動管理機能

メモ리카ードの保存領域が足りない場合には、各フォルダー別に一番古いファイルから順次に削除する自動管理機能を備えております。

◆ バックアップ保存

急な電源遮断でも、内部電源のバックアップ機能により、最終のファイルを保存してシャットダウンします。

◆ デジタルズーム機能

映像を専用ビューアで再生する時に、デジタルズーム機能で映像を拡大して再生する事が可能です。

4. 製品の特徴(2)

◆ 専用ビューワを通じた録画データの確認

本装置の映像を専用ビューワにて再生すると4CHを同時再生しながら各種情報を確認できます。

◆ 実時間映像確認

VIDEO OUT機能により、設置及び動作時にカーナビ画面にて実の映像を確認する事ができます。

(但し、ナビAV-IN 或はカメラ端子と映像ケーブルとのピン配列が一致することが条件です)

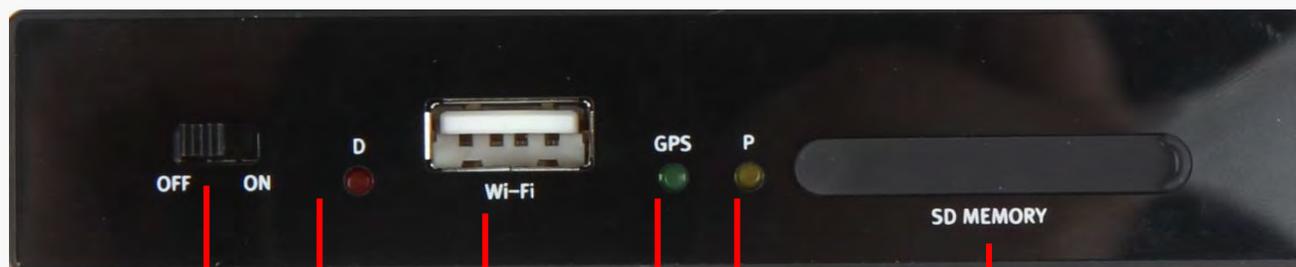
◆ バッテリ放電防止のための電圧遮断装置及び遮断電圧、タイマー設定支援

本製品は、ドラレコの常時電源使用時に本体内部にバッテリ放電を防止する為に電源を遮断する機能が有しております。駐車録画中に、設定した電圧以下になった場合に、自動的に本装置の電源をオフにしてバッテリ放電を防止します。

◆ 運行記録保存

運行する間の日付/時間/走行距離が記録され、専用ビューワを通じて移動経路を確認できます。但し、位置分析の為には別売のGPS モジュールが必要になります。

5. 各部分の名称及び機能



電源スイッチ

走行動作LED

(赤)

WiFi dongle

GPS 感知

(緑)

駐車動作LED
(黄色)

メモ리카ードスロット



前方カメラ

後方カメラ

左側カメラ

右側カメラ

ビデオ出力

GPS入力

DC電源入力

6. 製品の機能及びボタン説明

機能	操作	状況	LED表示	ブザー音
-	電源ON時	システムセットアップ	YELLOW, RED LED点灯、 起動完了時に消える	長くピーと鳴る
-	電源OFF時	電源OFF後、 録画中のファイルを安全に終了	終了時消灯	-
-	GPS入力時	GPS動作	GREEN LED点滅	-
WiFi	SDカードフォーマット (常時モードでのみ可能)	本体再起動後、SDカードフォーマット	GREEN, YELLOWが交互に点滅	開始: ‘ピー’ と長く3回
	音声録音ON, OFF	音声録音ON	RED LEDがゆっくり点滅(3秒間隔)	
音声録音OFF		RED LEDが速い点滅(1秒間隔)		
-	アップデート	SDカードを通じてアップデートが成功した 場合	YELLOW, RED LEDが交互に点滅、 アップデート完了後再起動	開始: ‘ピーピー’ と短く1回 終了: ‘ピーピー’ と短く1回
		SDカードを通じたアップデートが失敗した 場合	YELLOW, RED LED点灯、 待機後、再起動	失敗: ‘ピーピーピーピー’ 短く3回繰り返し

動作	操作	状況	LED表示	ブザー音
常時記録	バッテリー電源ON状態でACC 電源ON	1分毎の映像ファイルが MDRxフォルダーに保存	RED LED点滅(1秒間隔) YELLOW LED消灯	保存開始時、 ‘ピー〜’ と長く1回
イベント記録	衝撃があったとき	衝撃前10秒 ~ 衝撃後20秒間の 映像を EDRxフォルダーに1分毎に保存	RED LED点滅(0.1秒間隔) YELLOW LED消灯	開始: ‘ピーピー’ 短く1回 完了: ‘ピー’ と短く1回
駐車監視記録	バッテリー電源ON状態でACC 電源OFF、 モーション或は衝撃があった時	衝撃前10秒 ~ 衝撃後20秒間の 映像を PDRxフォルダーに駐車モーション、 ADRxフォルダーに駐車衝撃を1分単位で保存.	監視: YELLOW LED点滅(1秒) 保存: YELLOW LED点滅(0.1秒) RED, GREEN LED消灯	駐車モード進入時 ‘ピー〜’ と長く1回

* フォルダ - Blackbox / 年 / 月 / 日 /

時 **注意** 1. GPSを検知(受信)すると、**赤色**LEDから**緑色**LEDが点滅しながら動作します。

2. GPSの受信が切れると、再び **緑色**LEDから **赤色**LEDが点滅します。

7. 製品概要

- ◆ 製品名 : VISION EYE Quattro
- ◆ 寸法 : 105 x 107 x 22 mm (本体)
- ◆ 容量 : Urive専用 64GB SD Card Class 10
(~128GBまで対応/MLC仕様 SDXC Card Class 10推奨)
- ◆ 録画方式 : 常時録画、イベント録画、駐車監視、衝撃録画
- ◆ 前方カメラ : VGA COMS 720x480
- ◆ 後方カメラ : VGA CMOS 720x480
- ◆ 左右カメラ : VGA CMOS 720x480
- ◆ 記録フレーム : 走行モード - Max. 120 fps / 駐車モード - Max. 120 fps (30fps/CH)
- ◆ 記録解像度 : 走行モード - 720 x 480 (前後左右)
駐車モード - 720 x 480 (前後左右)
- ◆ 音声 : 前方カメラ内蔵型マイク
- ◆ 映像出力 : ステレオジャック(3極)
- ◆ 加速度センサー : 3軸加速度センサー
- ◆ GPS : SIRF-III級(オプション)
- ◆ 動作電圧 : DC 12V / 24V仕様
- ◆ 消費電力 : Max. 7.2W (モニター, GPS, カメラを全て連結時)
- ◆ 動作温度 : -20°C ~ 70°C
- ◆ 保管温度 : -40°C ~ 85°C
- ◆ ビューワ対応OS : Windows XP以上

※ 製品の外観及び仕様については、製品向上のため予告なく変更されることがあります。

8. アップグレード(1)

[自動アップグレード方法]

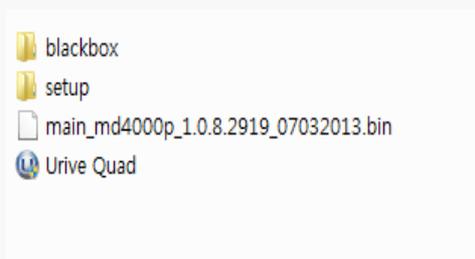
1. パソコンにインストールした専用ビューワでメモリカードを使用してアップグレードができます。SDカードをパソコンにセットし、専用ビューアのアップデートボタンを押します。
2. Urive アップデートマネージャーウィンドウで現在のF/Wバージョンを確認します。
3. F/Wアップデートファイルの保存位置にメモリカードが入っているドライブかを確認します。
4. “アップデート”ボタンを押すと、メモリカードにアップグレードファイル(main_md4000p_x.xx.xxxx_xxxxxx.bin)が自動的にコピーされます。

[注意事項] アップデートボタンを押した後、Windows保安警告メッセージウィンドウが表示されると必ず‘遮断解除’ボタンを押して下さい。‘継続遮断’ボタンを押すと、以降にはWindows保安問題により自動アップデートができません。ご注意ください。

1



2



8. アップグレード(2)

5. アップデート用プログラムが入ったSDカードを本装置にセット(本体の電源は必ずOFFの状態で作業して下さい。)
6. 本装置に電源を入れます。
7. 約10秒～20秒程度待ちます。
8. 赤色LEDと黄色LEDが点滅し、短くピーピー音と共にアップグレードを開始します。
9. アップグレードが完了すると、赤色LEDと黄色LEDが消灯すると同時にブザー音がピーピーと短く鳴動します。

その後、自動的に本装置が再起動します。

[Wi-Fi遠隔アップグレード方法]

1. スマートフォンからUriveアプリを実行します。
2. ホームメニューで遠隔検索メニューをタッチします。
3. 端末機追加及び端末機確認後、遠隔F/Wアップグレードメニューをタッチします。
4. 現在F/Wバージョン及び最新F/Wバージョンを確認し、アップグレードが必要かを確認します。
5. 以降、アップグレードができると、遠隔F/Wアップグレードボタンをタッチします。
6. 赤色LEDと黄色LEDが点滅し、ピーピー音が鳴りながらアップグレードが開始します。
7. アップグレードが完了すると、赤色LED黄色LEDが消灯すると同時にブザー音がピーピーと短く鳴動します。
その後、自動的に本装置が再起動します。

注意) F/Wアップグレードの間、電源が消えないようにご注意ください。

F/Wアップグレード以降、既存に設定された環境設定値はそのまま維持されます。

F/W遠隔アップグレードの場合、ミニUSB Wi-Fi dongleがON状態のみ可能です。

8. アップグレード(3)

[手動アップグレード方法]

1. アップグレードしたいF/WファイルをSDカードにコピーします。(www.urive.co.kr ダウンロードセンター)

SDカードを必ずUrive Quad専用ビューア、或は本装置本体でフォーマットした後、フォーマットされたメモリカードにアップグレードファイル(main_md4000p_x.xx.xxxx_xxxxxx.bin)をコピーします。

2. 本装置本体電源を消した後、本装置にSDカードを挿入します。
3. 本装置の電源をONにします。
4. 約10秒 ~ 20秒程度待機
5. 赤色LEDと黄色LEDが点滅し、短いピーピーという音がと共にアップグレードが始まります。
6. アップグレードが完了すると、赤色 LEDと黄色 LEDが消灯と同時にブザー音がピーピーと短く鳴ります。

その後、自動的に本装置本体が再起動します。

注意) F/Wアップグレードの間、電源が落ちないようにご注意ください。

F/Wアップグレードした場合でも、既に設定された設定環境はそのまま維持されます。

9. 構成品

製品購入の際は、次の同梱品が全て入っているかご確認下さい。

万が一、製品に破損、或は異常があれば、速やかに、製品を購入頂いた販売店にお問合せ下さい。

基本仕様



本体



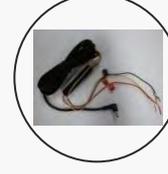
前方
カメラ



後方
カメラ



左右カメラ
(2EA)



常時電源
ケーブル



VIDEOケーブル
(標準3極ケーブル)

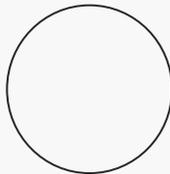


Urive専用
SD (64GB)



SDカードリー
ダー

基本仕様



マニュアル



ミニUSB
WiFi ドングル

オプション(別売)



GPS
モジュール



シガー専用
ケーブル



3極-4極変換
コネクター

注意) 上記構成品は製品の改善、或は部品の供給状況により、仕様を変更することがあります。

10. 端子別ピンの配列

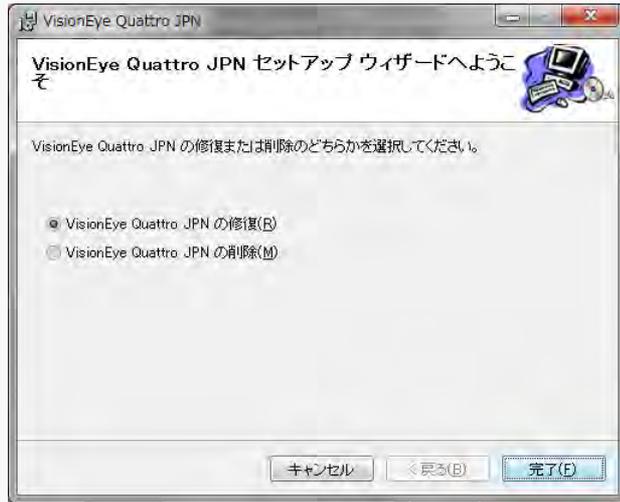
端子区分	イメージ	ピン配列
電源端子 (DC socket)		① GND ② ACC ③ BAT(B+)
GPS端子 (2.5φ Phone Jack)		① VCC(3.6~6V DC) ② Rx ③ GND ④ Tx(GPS Signal Output)
VIDEO端子 (2.5φ Phone Jack)		① Video Out ② 未使用 ③ GND
VIDEO端子 (3.5φ Phone Jack)		① Video In ② VCC(5.0V) ③ Audio Line-In(後方、左/右は未使用) ④ GND

11. 設置時注意事項

- ◆ 本装着は、なるべく水平な位置に、必ずエンジンを切った状態で行ってください。
- ◆ 本製品は、水平に固定装着しますが、必ず固定する前に電源をONにして、前/後方映像が正常に記録されて入る事を確認してから設置してください。
- ◆ 外付けカメラは、必ず本装置本体の電源が入っていない状態で、接続してください。
- ◆ 装着時に必要な付属品は製品構成品として梱包されていますので、指定された装着方法で設置してください。
- ◆ SDカードが正確に挿入されている事を確認後、電源を入れてください。
- ◆ 運転者の視野を妨げる位置に設置しないようご注意ください。
- ◆ 装着した前面のガラス面はきれいに掃除してください。
- ◆ 本体及び外付けカメラは安全の為に、明るい場所で設置してください。
- ◆ 後方の外付けカメラを、後方のウィンドウに装着する場合、コーティング・フィルム或いは、熱線により画質が落ちることがありますので、注意してください。
- ◆ 装着後には、必ずカメラレンズの保護カバーを剥がしてください。

12. ビューア設置

1. 専用CDでビューアファイル(VISION EYE Quattro)をインストールして下さい。



1



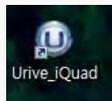
3



2

13. ビューア実行及び削除

1. Windosのデスクトップ、或はスタートメニューを選択して次の通り“Quattro”アイコンが設置されたことを確認します。



2. Quattroを実行します。
3. ビューワの削除は、スタートプログラムで“Quattro アンインストール ”を選択して削除することができます。

14. ビューアメイン画面

ビューア/プログラムバージョン及び自動更新 画面印刷 画面コピー 画面 拡大/縮小

Update Setup Print Capture

順番	日付	時間	イベント
319	2016-04-20	10:28:00	走行 普通
320	2016-04-20	10:29:00	走行 普通
321	2016-04-20	10:30:00	走行 衝撃
322	2016-04-20	10:31:00	走行 衝撃
323	2016-04-20	10:32:00	走行 衝撃
324	2016-04-20	10:32:00	走行 衝撃
325	2016-04-20	10:33:00	走行 衝撃
326	2016-04-20	10:33:00	走行 衝撃
327	2016-04-20	10:34:00	走行 普通
328	2016-04-20	10:35:00	走行 普通
329	2016-04-20	10:36:00	走行 普通
330	2016-04-20	10:37:00	走行 普通
331	2016-04-20	10:37:41	駐車 モーション
332	2016-04-20	10:38:00	駐車 モーション
333	2016-04-20	10:39:00	駐車 モーション
334	2016-04-20	10:40:00	駐車 モーション
335	2016-04-20	10:41:03	駐車 モーション
336	2016-04-20	10:41:04	駐車 モーション
337	2016-04-20	10:42:00	駐車 モーション
338	2016-04-20	10:44:02	駐車 モーション

前方カメラ 後方カメラ

左カメラ 右カメラ

再生エリア 拡大/縮小

GoogleMAP

Gセンサー値 グラフ

ビデオ

Gグラフ・日付

Acceleration

X	-0.000G
Y	+0.001G
Z	-0.002G

2016-04-20
10:41:12

1/4 1/2 1 2 4 Max 0 5 10

15. ビューワボタン説明(1)

1. アップデート

専用ビューワとドラレコF/Wのバージョン情報及びUrive Home pageのダウンロードセンターをサポートします。SDカードをパソコンと接続してバージョン情報を確認できます。なお、専用ビューワとF/Wを自動的にアップデートできます。

警告) 専用ビューワとF/Wをダウンロードする時にはOSで“Windows**保安警告**”ウィンドウが表示されると、必ず“ブロック解除”ボタンを選択してください。

2. 全体画面ボタン

選択された映像を全体画面に変えます。

3. 最小化ボタン

作業表示バーに専用ビューワを最小化します。

4. ビューワ終了ボタン

専用ビューワを終了します。

5. 以前ファイル/次ファイル再生ボタン

映像再生中、以前ファイル/次ファイルの順序に再生します。

15. ビューアボタン説明(2)

6. 以前フレーム/次フレーム移動ボタン



映像再生中、このボタンを押すと画面が10秒前、10秒後単位で移動します。

7. 再生開始



リストで選択したファイルを再生します。或は、一時停止した映像を再び再生します。

8. 一時停止



再生中のファイルを一時停止します。

9. 再生中止



再生中のファイルを中止します。

10. 画面印刷

選択した映像(1~4CH)の全体画面をプリンターに出力します。

11. 画面キャプチャー

選択した映像(1~4CH)の全体画面をJPGファイルで保存します。

12. ボリューム調節



0~10までボリュームを調節します。

13. 再生速度の調節



映像再生速度を1/4, 1/2, 1, 2, 4 倍速に調節できます。

15. ビューアボタン説明(3)

14. 加速度/速度グラフ

加速度と速度グラフを表示します。

16. ドラレコ環境設定

ドラレコの環境設定値をSDカードに保存します。

17. マップ表示/マップ非表示



映像再生中、車両の位置をマップで確認出来ます。オプションのGPSモジュールが必要になります。

18. 再生リスト再生



SDカードに保存されているデータを再生する為にファイルを種類別に区分して再生リストとして呼出します。

19. 再生ファイルのオープン



再生したい録画ファイルを探して再生します。

20. 時間バースズームイン、ズームアウトボタン



ボタンを使って次のように時間バーを拡大、或は縮小します。

| 50s | 00s | 10s | 20s | 30s | 40s | 50s | 00s | 10s | 20s | 30s

16. 全体画面のモニタリング

◆ 再生中に全体画面としてモニタリングしたい場合、該当画面をダブルクリックします。



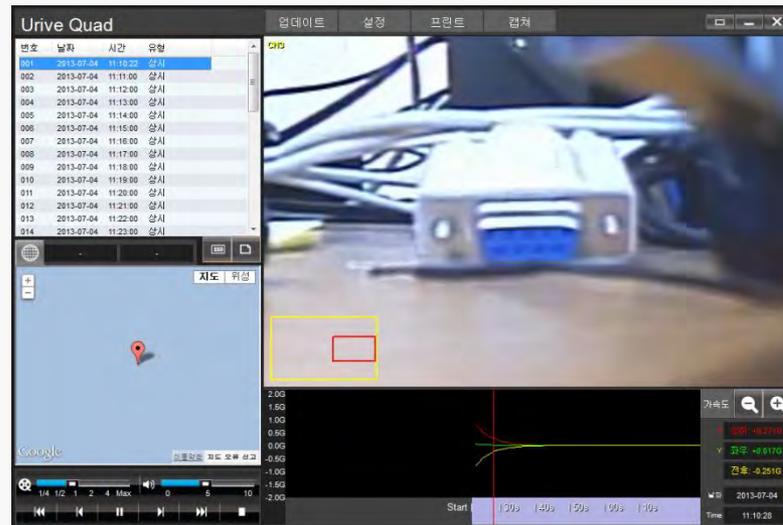
1. CHの全体画面モード：ビューア上段をダブルクリックすると、全体画面に転換されます。
2. 画面復帰：全体画面モードでマウスをダブルクリックしたら、以前画面に復帰します。

17. デジタルズーム

◆ 再生中、前方或は後方画面をクリックしたら左側下段に赤色でデジタルズーム領域を表示します。



[デジタルズーム以前画面]



[デジタルズーム拡大画面]

1. 該当CHをダブルクリックして全体画面モードに転換します。
2. 前方、或は後方画面をクリックするとデジタルズーム領域が赤色で表示されます。
3. マウスを前後にスクロールして拡大、或は縮小します。
4. 画面上でマウスをクリックしたまま、動かすと見たい画面に移動します。

18. 録画データの再生

- ◆ ドラレコ装置のSDカードに記録されている映像データをすべて、或は映像類型別を選択して再生でき、マイクロSD カードフォーマットとSD復旧及び検査機能を提供します。



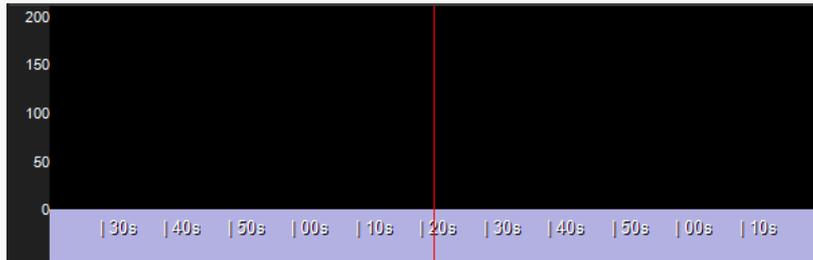
1. 本装置本体に装着されたSDカードを取外してパソコンにセットします。
2. ビューワメイン画面で  ボタンを選択すると、左側のようにSDカードに入っているすべての保存データを検索して再生リストとして確認出来ます。
3. 再生リスト：映像位置と映像種類が選択できます。
4. SD 経路：映像が保存されたSDカードの位置を変更したいときに使用します。
5. 再生したい映像の種類を選択して再生できます。
6. 全て選択、全て解除、選択項目解除：リストでファイルを選択、解除、選択の機能を行います。
7. 確認：リストに選択されているデータをメイン画面のファイルリスト窓に移動して再生します。
8. 取消：再生リストの生成、及びSDフォーマット窓を終了します。

19. 録画ファイル情報



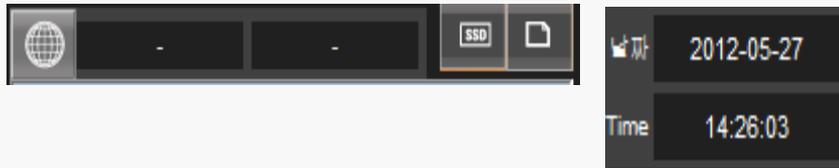
[重力加速度グラフ]

- 0 ◆ 左側の絵のように、再生中にG-sensor情報の確認ができます。3軸は、前後、左右、上下方向をいいます



[速度グラフ]

- ◆ 左側の絵のように、再生中に走行速度グラフを見るか、速度を見れます。

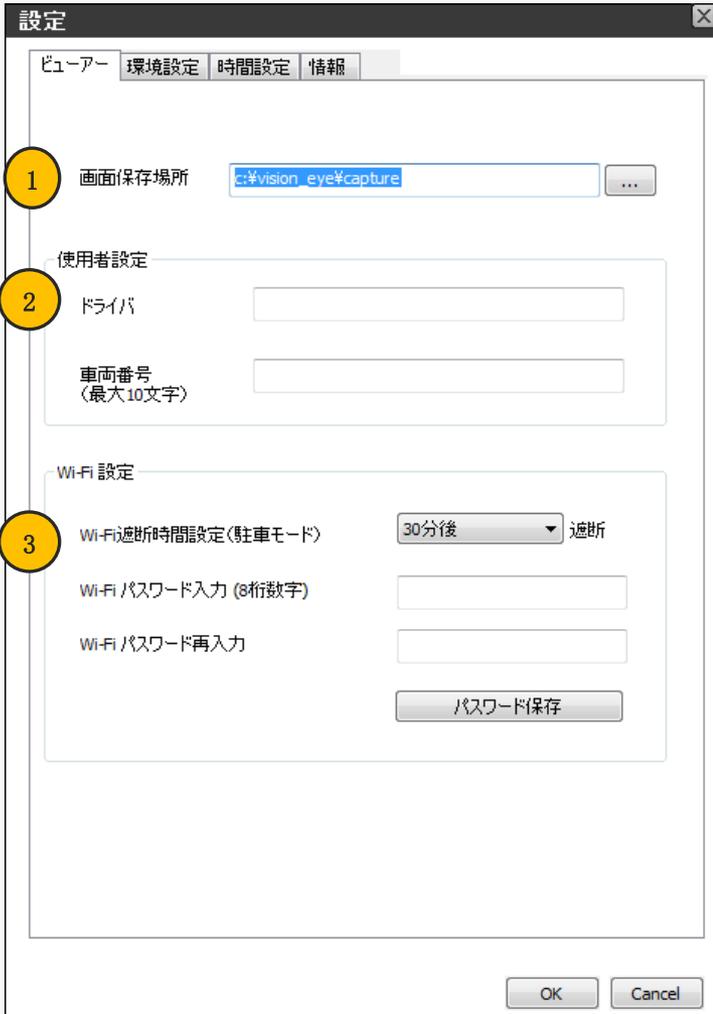


- ◆ 再生中に緯度、経度の情報を見れます。
- ◆ ファイルの年/月/日及び時間情報を見れます。

[緯度 / 経度 / 再生時間]

20. ドラレコの実環境設定(1)

- ◆ **本装置の環境設定**：専用ビューアのメイン画面で設定ボタンを押すと、下記のようにドラレコの設定窓が表示されます。各設定内容はUrive Quadビューア設定 / 環境設定 / 時間設定 / Aboutバージョン参照タブに分かれます。SDカードをパソコンにセットしてから実行してください。



1. 画面保存経路：画面保存ファイルの経路を指定します。
2. 使用者設定：運転者情報と車両番号を入力できます。運転者別にメモリカードを使うとき便利になります。
3. Wi-Fiのパスワードを任意に設定する事が出来ます。
初期設定のパスワードは12345678です。

20. ドラレコ的环境設定 (2)



1. モーション感知感度：(駐車中) 動きを感知するセンサーの感度を調節します。高 / 普通 / 低 / 未使用の4段階になります。
2. 衝撃感度設定：衝撃を感知するセンサーの感度を調節します。走行モード、駐車モードの段階値が大きいと大きいほど鈍感になり、小さいほど敏感になります。(段階：1~10段階)
3. バッテリー保護の設定：遮断電圧と遮断時間設定があります。この2種類の内、先に到る値により動作します。遮断基準電圧は、11.5V, 11.7V, 11.9V, 12.1Vの4段階であり、遮断時間設定機能は6H, 12H, 24H, 48Hの5段階で選択できます。
4. ディスク領域設定：使用したいディスクの使用量を決定します。
A：走行 (Drive) 50%, 駐車 (Park) 25%, イベント(Event) 25% (初期値)
B：走行 25%, 駐車 50%, イベント 25%
C：走行 75%, イベント 25%
5. 映像画質：前後左右CHの画質設定ができます。画質は 普通 / 高 / 超高の3段階で設定できます。
6. Frameレート:前後左右CHのフレームレートを設定できます。1/5/10/15/20/25/30の7段階に設定できます。
7. 解像度：前後左右CHの解像度を各々設定できます。360X240/ 720X480の2段階で選択できます。
8. 音声録音：音声は前方CHに保存され、音声保存機能をon/off設定できます。

20. ドラレコの実環境設定(3)



1. 時間設定タブを選択すると、ドラレコ時間設定と標準時間帯を設定できます。
2. ドラレコの時間設定：GPSモジュールがない場合、ドラレコ装置に時間設定が可能です。時間設定保存後、直ぐドラレコにSD カードを装着し電源を入れることにより時間設定値と現在時間との誤差が少なくなります。
3. 標準時間帯の設定：国別GMT時間を設定します。基本値はPCの時間を持ってきます。(GMT +09:00 Tokyo)
4. 選択した後、OKボタンを押すと設定が完了します。

21. SD検査及び復旧

- ◆ SD検査及び復旧：SDメモリのファイルエラーを修正するか、不良セクターを調べて復旧する機能です。他のアプリからSDメモリを使用していると、全て終了してから進めてください。

1



[SD検査及び復旧基本画面]

2



[正常的なSD検査結果1]

3



[正常的なSD検査結果2]

1. ドラレコ装置に入っているD カードを外してパソコンに接続します。
2. ビューアメイン画面で  ボタンを選択すると、(1)の絵のようなSDカードを検査、及び復旧できる SD検査及び復旧タブ機能はあります。
3. SD検査を通じてメモ리카ードの基本的なエラー検出ができ、エラー修正、不良セクターの検出及び復旧ができます。
4. (2), (3)の絵は、メモ리카ード検査結果です。

22. i-Shotgun WiFi機能の使用準備

ドラレコQuattroは、起動時にミニUSB WiFi dongleが装着されているときに自動的にWi-Fi機能がONになります。

1. Quattro本体にミニUSB WiFi dongleを装着する。
2. ミニUSB WiFi dongleの緑色LEDが点滅すると、正常に動作しております。
注意) 但し、駐車モードではWiFi機能は無効になります。

22. i-Shotgunアップデートダウンロード及び設置

[Android用]

1. スマートフォンから“Play Store”アイコンを実行
2. 検索窓に“Urive”に検索します。

- 1) Android OS基盤のスマートフォンでのみ可能
- 2) ドラレコとの連動は同時接続はできません。
- 3) ドラレコと連動された環境ではInternet使用が制限されます。
- 4) 一部のスマホンではスムーズに作動しないこともあります。
- 5) 使用環境及び通信状態により接続距離が変わることがあります。

23. 記録データ

1. Blackbox フォルダー：データが保存されるフォルダーです。各映像ファイルは1分単位の映像を連続して保存します。

- 常時ファイル：例) Blackbox¥12¥07¥30¥09¥ MDR1_20120730_093000：2012年7月30日09時30分に生成された2CH映像ファイル
- Eventファイル：常時録画中に衝撃録画、モーション録画などイベントファイルをイベント発生時点の10秒前~20秒後までの合計30秒の映像を保存します。満杯になると、最初のファイルを削除してから保存します。

ファイル生成の例：Blackbox¥12¥07¥30¥09¥ EDR0_20120730_093300：2012年7月30日09時33分00秒~59秒に

対するイベント1 CH(前方)映像ファイル

- Parkingファイル：駐車監視中、モーション感知及び駐車衝撃によりファイルを保存します。イベント発生時点の10秒前~20秒後まで合計30秒映像を保存します。満杯になると、最初のファイルを削除してから保存します。

ファイル生成の例：Blackbox¥12¥07¥30¥12¥ PDR2_20120730_120500：2012年7月30日12時05分00秒~59秒に対する

駐車モーション感知3 CH(左側)の映像ファイル

Blackbox¥12¥07¥30¥12¥ ADR3_20120730_120500：2012年7月30日12時05分00秒~59秒に対する

駐車衝撃感知4 CH(右側)の映像ファイル

- Logファイル：各種システムログ、衝撃数値、イベント、各時間帯別GPS位置等を記録するファイルです。満杯になると、最初のファイルを削除してから保存します。

ファイル生成の例：Blackbox¥12¥07¥30¥12¥ log.txt：2012年7月30日12時00分00秒~12時59分59秒の間のシステム

情報が記録されたファイル

2. Setupフォルダー：使用者設定フォルダーです。

3. UriveQuad.msi：専用PCビューア設置ファイルです。Urive home pageからダウンロードできます。

24. メモリカードの保存容量別保存比率

[表1] 類型及び容量別録画モードの貯蔵割当量					単位: MB
類型	容量(GB)	サイズ(MB)	常時	駐車	走行イベント
A	16	16,384	7,782	3,891	3,891
	32	32,768	15,564	7,782	7,782
	64	65,536	31,129	15,564	15,564
	128	131,072	62,259	31,129	31,129
B	16	16,384	3,891	7,782	3,891
	32	32,768	7,782	15,564	7,782
	64	65,536	15,564	31,129	15,564
	128	131,072	31,129	62,259	31,129
C	16	16,384	11,673	0	3,891
	32	32,768	23,347	0	7,782
	64	65,536	46,694	0	15,564
	128	131,072	93,388	0	31,129

[表2] イベント別録画モードの保存割当

			単位: %
類型	常時	駐車	走行イベント
A	50%	25%	25%
B	25%	50%	25%
C	75%	0%	25%